

地域におけるスタートアップ支援の現状と 中部経済産業局の取組

2023年12月 経済産業省 中部経済産業局

目次

01 東海地域を取り巻く状況

02 中部経済産業局の取組について

01 東海地域を取り巻く状況

02 中部経済産業局の取組について

スタートアップエコシステム拠点都市の選定

- 地方自治体（区市町村・都道府県）と大学と民間組織（ベンチャー支援機関、金融機関、デベロッパー等）を構成員とするコンソーシアム（協議会等）に対して、「スタートアップ・エコシステム拠点都市形成プラン」を公募。
- 有識者と内閣府、経済産業省、文部科学省による選定委員会で拠点都市を選定。
 - グローバル拠点都市 4箇所
 - 推進拠点都市 4か所
- 政府、政府関係機関、民間サポーターによる集中支援を実施し、世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点の創出を目指す。

スタートアップエコシステム拠点都市一覧（令和2年7月選定）

【グローバル拠点都市】

- ・スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム
（東京都、川崎市、横浜市、和光市、つくば市、茨城県等）
- ・**Central Japan Startup Ecosystem Consortium**
（愛知県、名古屋市、浜松市等）
- ・大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム
（大阪市、京都市、神戸市等）
- ・福岡スタートアップ・コンソーシアム
（福岡市等）

【推進拠点都市】

- ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会（札幌市等）
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会（仙台市等）
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議（広島県等）
- ・北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム（北九州市等）



スタートアップエコシステム拠点都市（Central Japan）

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

代表者：一般社団法人中部経済連合会
会長 水野明久

構成組織：244企業・団体・大学等



浜松市スタートアップ戦略推進協議会



























代表者：浜松市長 中野 祐介

構成組織：15企業・団体・大学等



J-Startup CENTRAL

- 経済産業省では「2023年までにユニコーン等を20社創出」という政府目標を達成するため、平成30年6月にJ-Startupプログラムを開始。一方で、地方の有望企業が取りこぼされている可能性もあることから、「J-Startup」の地域版を展開。
- 当地域では、J-Startup HOKKAIDO、J-Startup KANSAI、J-Startup TOHOKUに次いで、J-Startup CENTRALとして選定（第1期:20社（2021/1/25） 第2期:3社（2021/11/1） 第3期:5社（2022/11/9））
- 当局は愛知県、名古屋市、浜松市、中部経済連合会、名古屋大学とともに事務局として参画。

<p>IoTDevices/ ICT/Apps</p>  <p>パイフotonics株式会社 PIPHOTONICS, INC HOLOLIGHT</p> <p><i>pinnovation</i></p>  <p>ZIP THE LOGISTICS</p> <p></p>	<p>AI/Control</p>  <p>AgreeBit</p>  <p>TRYETING</p>	<p>Mobility</p>  <p>-----</p>  <p>TierIV Intelligent Vehicles For Everyone</p>	<p>Medicine and engineering/BIO</p>   <p>iCorNet Laboratory iBody</p> <p>GRA&GREEN</p>  <p>SILVACOMPASS</p> <p><i>Genial Light</i></p>	<p>Manufacture /Materials</p> <p>ANSeeN X-ray COLOR Imaging</p>  <p>U-MAP Co.,LTD Ultimate Material and Processing</p> <p>-----</p>  <p>Photoelectron Soul</p> <p></p> <p>Magic Shields</p>
<p>Robotics</p> <p>Revolutionary Drones for Professionals PRODRONE®</p> <p>-----</p>  <p>LINKWIZ Robotics & Partners</p>	<p>Service/Platform</p>  <p>Aracon</p>  <p>crassone</p>  <p>KUROFUNE</p>  <p>STUDIO UNBUILT</p> <p>Sonoligo</p>	<p>J-Startup J-Startup CENTRAL</p> <p>28 8 companies</p> <p>Aerospace</p>  <p>TERRA LABO</p> <p>-----</p>  <p>SKYDRIVE</p>  <p>PD AEROSPACE</p>	<p></p> <p>PREVENT</p>  <p>Healthcare Systems</p> <p>-----</p>  <p>SORA TECHNOLOGY</p>	<p>Environment/ Energy/Society</p>  <p>SyncMOF</p> <p>土と、緑で、未来を彩る。 TOWING トーイング</p>  <p>HAPPY QUALITY JAPAN</p>

2023年5月1日時点

イノベーション拠点・コミュニティ（愛知県内）

Nagoya Innovator's Garage



中部圏のこれからを盛り上げるイノベーションの起源として多くの機能を兼ね備え、同じ志を持った人々が集い、イノベーションを生み、世界を変える発想をもたらすイノベーションハブ。

（愛知県名古屋市）

NAGONO CAMPUS



「ひらく、まぜる、うまれる～次の100年を育てる学校～」をコンセプトに、起業家・ベンチャー企業の育成を目的とした名古屋の新しいインキュベーション施設。

（愛知県名古屋市）

PRE-STATION Ai



STATION Aiが開業するまでの間WeWorkグローバルゲート名古屋内に「PRE-STATION Ai」を運営。統括マネージャーのメンタリング、集中支援プログラム、勉強会等によりスタートアップの成長を支援。

（愛知県名古屋市）

Idea Stoa (Tongali)



様々なバックグラウンドを持つ研究者や学生が集まり、試行錯誤したり、仲間を集めたり。“Idea Stoa”では、共に何かを創り出すことによって、新たな価値へと繋げていきます。

（愛知県名古屋市名古屋大学内）

FUSE



事業を立ち上げようとするすべての人が、試行錯誤を繰り返しながらカタチにしていくために必要な設備、環境、そしてコミュニティのすべてが揃い融合する「場」。

（静岡県浜松市）

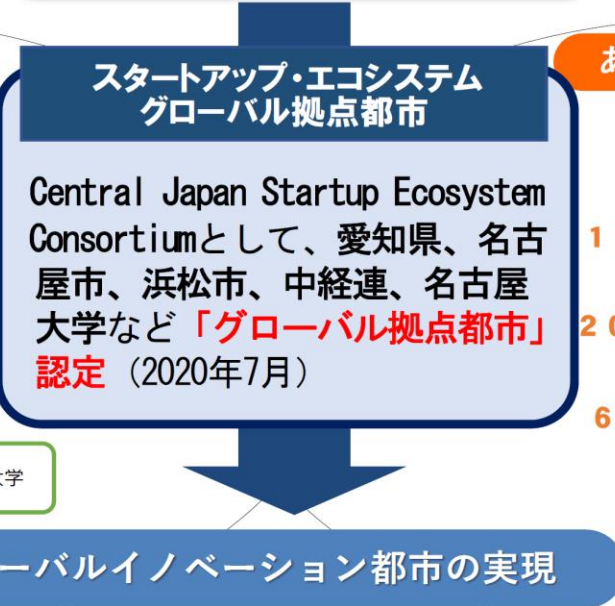
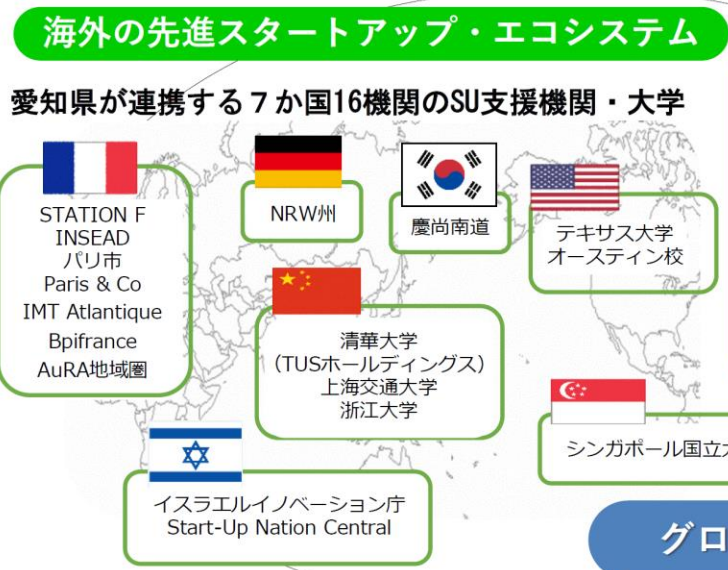
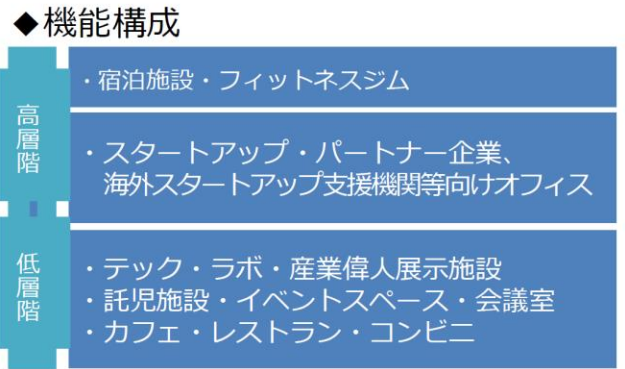
2023予算
4,915,490千円

「STATION Aiプロジェクト」

- 2018年、国に先駆けてスタートアップ・エコシステム形成に向けた「Aichi-Startup戦略」を策定（毎年度ローリング）
- 本戦略中核の日本最大の支援拠点「STATION Ai」を、愛知県とソフトバンク(株) が連携し整備・運営
- 愛知県の海外先進のスタートアップ支援機関・大学のネットワークと、ソフトバンク(株)の世界的なビジネスネットワークとを融合させ、世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティを形成



- ◆ビジョン
『すべての人にスタートアップのワクワクを』
- ・事業手法 PFI（BTコンセッション方式）
 - ・事業者 ソフトバンク(株)が設立したSPC「STATION Ai(株)」
 - ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
 - ・延床面積 約23,600㎡（地上7階）【日本最大】
 - ・利用者数 1,000社【日本最大】



Tongaliとは？

Tokai Network for Global Leading Innovation



東海地区の大学が取り組むアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォームの総称

Vision Mission

アイデアとテクノロジーが交わる学校未来に繋がる価値を創り、届けることができるトンガった人材を育成する。そして、技術を発掘、支援することにより、東海から世界に向けて、地球・社会や人類の生活を（モノ、心を）豊かにする。



アントレプレナーシップ教育『Tongali E』

2 3 大学



名古屋大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立芸術大学、椋山女学園大学、光産業創成大学院大学、愛知県立大学、静岡大学、浜松医科大学、南山大学、豊田工業大学、中部大学、金城学院大学、静岡理工科大学、静岡県立大学、名古屋外国語大学



起業支援『Tongali X』



Tongali
イノベーターズチャンネル



地域連携プログラム



中高生アントレ教育

アントレプレナーシップ教育の共通プログラム

学生はだれでも参加が可能。
2022年度は、Tongaliで実施する講義 + 共通プログラムに約6,000人が参加している。



7

01 スタートアップ準備資金

5大学を対象としたシーズ育成金。
研究成果の事業化の可能性を検討するための補助金。

02 GAP ファンド

Tongaliで実施する事業化のための開発資金。
ビジネスプランの仮説検証、起業に必要な知識獲得と、個別メンタリング等のインキュベーションプログラムも同時に実施する。

03 名古屋大学・東海地区広域大学VF

起業した大学発ベンチャーを対象としたベンチャーファンド。起業したベンチャーには、“名古屋大学発ベンチャー”の称号授与のほか、学内インキュベーション施設のオフィス支援、様々なネットワークを駆使した顧客やVCの紹介なども実施している。



01 東海地域を取り巻く状況

02 中部経済産業局の取組について



共創マッチング

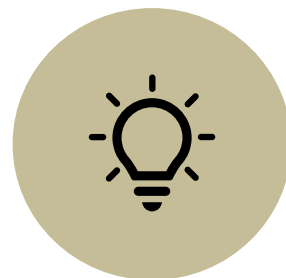
地域企業のイノベーション創出やスタートアップの成長等に繋がる協業を促進するため、意欲的な地域企業とスタートアップとのマッチング&伴走支援を実施。



中部版IPAS事業

SUの知財活用を通じた事業成長を加速化

テック系SUに対し、事業・知財両面による伴走支援を実施。加えて、地域SU支援拠点やINPIT等と連携し、地域内での支援体制を強化。



イントレプレナー創出・育成勉強会

イントレプレナーによる社内外での新事業創造や実務を通じた成長に資する人材流動化を促進

新たな事業開発手法や越境による新事業創造等の事例紹介、交流機会の提供を通じた普及啓発を実施。



Meet up Chubu

共創先を探索するためのオープンイノベーションプラットフォーム

隔週実施のピッチイベントを通じ、新たな連携プロジェクトを次々と創出。

1. 共創マッチング（中小企業×スタートアップ＝新事業創出）

新事業を立ち上げるためには、外部との連携がひとつの鍵となります。事業会社が保有するリソースやアセットと、スタートアップが持つ人材やノウハウを持ち寄り共創することで、新たな提供価値が創出される事例が増加しています。

本事業では、当地域の地域企業が思い描く新事業を促進するため、**スタートアップとの協業方法の習得から、連携したい全国のスタートアップとの個別マッチングと伴走支援を実施**します。

委託先：PwCコンサルティング



●募集：7社程度

●対象企業：

新事業を想像しているが、

- ✓あるノウハウが不足している
- ✓ノウハウを持つ人材がない
- ✓斬新なアイデアがない
- ✓スタートアップを探したい など

●時期：令和5年10月頃～

●協業事例を交えた新規事業開発手法の指導

●スタートアップ向けプレゼン資料作成にかかる指導・助言

●**新事業に対するニーズの明確化及びマッチするスタートアップの提案（7社程度）**

●時期：令和5年11月頃～令和6年1月頃

●令和4年度実績

(株)エムエス製作所 (株)山田製作所
(有)アートスクリュウ K T X (株)
眞和興業(株) (株)八幡ねじ

●**約2社のスタートアップをピックアップ頂き、マッチングを実施**

●時期：令和5年12月頃～令和6年2月頃

●令和4年度マッチング実績
6社×3社＝**18件以上**

●有望案件2件を重点支援

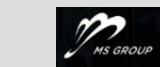
●時期：令和6年2月頃～令和6年3月頃

●成果・課題等のとりまとめ

●時期：令和6年2月頃～令和6年3月頃

令和4年度成功事例

令和4年度 成功事例



TriOrb (スタートアップ)

(株)エムエス製作所

産総研 | 九州センター



「TriOrb BASE」を活用した院内物流のPoC検証

知的財産活用について課題を抱える中部地域（管内5県および浜松市）のベンチャー・スタートアップを募り、**知的財産活用に係るアドバイスや戦略の策定、ビジネスプランのブラッシュアップなどをハズオンで支援**し成長促進を図る。

（１） 集合型支援

自社技術等の保護、競合の参入防止や他社との差別化など、**「攻め」の活用方法**や、事業規模拡大時の知財活用手法・ポイントなどに関するセミナー
希望者に**知財活用における課題について個別相談会**を実施。

（２） 個別伴走型支援

メンターによる**知財戦略やビジネスプラン、事業領域や事業フェーズに応じた伴走支援**を実施。

（１） 集合型支援

セミナー



知財面とビジネス面
について専門家が講義

個別相談会



知財面の指導や相談
について専門家が個別
に相談に対応

（２） 個別伴走型支援



ベンチャー・
スタートアップ

知財
メンター
弁理士等



アドバイス



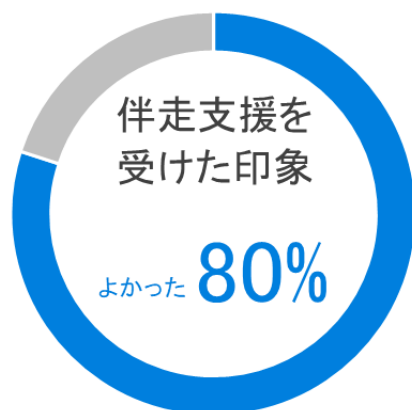
ビジネス
メンター
スタートアップ支援
経験等ビジネス
全般の専門家

・知財メンター 1 人、ビジネスメンター 1 人の 2 人体制による指導
・訪問は 4 回程度

◆各社成果

会社No.	事業概要	成果
1	データ解析に機械学習（AI）を活用	特許や意匠の登録を行うべき対象の洗いだし、効果について整理できた。ロードマップを作成し全体的な知財戦略の方針をまとめることができた。
2	3次元地図や位置推定の領域、知財自社開発	業務提携契約書／特許共同出願契約書のレビューを通して、協業先企業の同意を得ないとライセンスが利用できない条文や共同で特許を出願するメリットについて再検討すべき状況であることを認識した。
3	農業従事者向けアプリの開発	マネタイズを含め所有するアプリとこれを利用した事業の方向性の整理ができた。
4	歯磨き粉の製造販売	ブランディングや知財面での契約上の整理が進み、事業の整理ができた。
5	ある文化のDXを実現するプラットフォームサービスの運営	個別メンタリングのフィードバックにより、現状の決済を中心としたサービスだけでなく、ビジネス領域を広げる戦略をとることを決断した。

◆アンケート



知財戦略の具体化出来てなかった
足元・将来の実施事項まで落とし込めた

思いつきで出願していた。
ビジネスモデルに応じて出願する
重要性を認識できた

支援回数が少ない

2023年度
ビジネス・知財戦略等の伴走支援を
継続しつつ、支援回数を増加。
より深い議論まで進むよう企画。

中部地域における新事業創造の機運醸成を図るため、イノベーション人材の創出・育成に繋がる「イントプレナー」にフォーカスした勉強会を開催。

中部地域には自動車産業をはじめとする地場の企業に人材や資金等のリソースが豊富に存在。イノベーションを起こすためには、こうした企業での新規事業立ち上げや社内人材の活用が有効な手段であり、既に大手企業を中心に取組が進みつつあるが、課題も多い。

勉強会を通じて、社内新規事業の立ち上げや担当者に求められるスキル等を紹介するとともに、同じ悩みを持った方々の交流機会を提供することで、当地域の新事業創造や生産性向上に繋げる。

【2023/09/15実施】

“新規事業推進の最新潮流” ～2023年のスタンダード～

- 先駆者による取組紹介
 - 講演①「社内新規事業の最新潮流」
0 → 1 Booster 代表取締役CEO 合田 ジョージ 氏
 - 講演②「新規事業を実現/加速するための仕組み/制度の導入」
株式会社Relic 名古屋支社長 田中 翔太良 氏
 - 講演③「新規事業担当者に求められる日々の活動 – 越境のススメ」
一般社団法人未来創造 代表理事 水野 敬亮 氏
- パネルディスカッション
- 情報提供 「社会人向け新規事業人材・起業家育成プログラム `ACTIVATION Lab、`」 STATION Ai
「 `未来を創造する、イントプレナー/アントレプレナー向けプログラム」 Innovator's Garage



大学等研究機関やスタートアップを含む事業会社が、**連携パートナーを探索する場**として、**毎月第2第4木曜日**に、技術シーズや技術課題、連携ニーズなどを隔週実施のピッチイベント等で紹介し、新たな連携プロジェクトを次々と創出するオープンイノベーションプラットフォーム。

産学による情報発信の場の提供

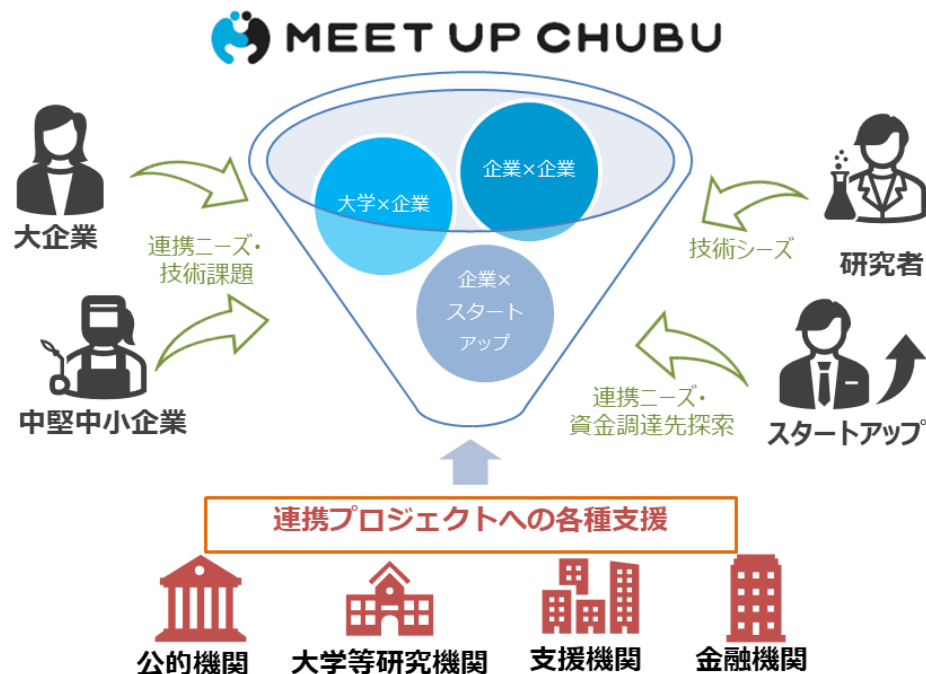
- ✓ 連携パートナーを探索する場として、誰でも登壇が可能です
- ✓ 適切な連携パートナーへの参加声がけをしています
- ✓ 他機関との積極的なジョイント企画しています

プロジェクトの実装支援

- ✓ プラットフォーム上で生まれた新たな連携プロジェクトに対し、競争的資金の獲得や、専門人材の活用等適切な支援メニューをご提案します

連携候補先のネットワーク

- ✓ 中部地域を中心とした大学・企業とのネットワークを構築しています
- ✓ 個別の産学連携相談に対応します



「Meet up Chubu」開催実績及び今後のスケジュール

4月

5月

6月

7月

8月

4/13

ヘルスケア (Well-being)

(株)ヘルスケアシステムズ
(株)じょさんしGLOBAL Inc.
NU-Medライフケアシステムズ(株)
(株)サカキL&Eワイズ
名古屋産業科学研究所

5/11

画像処理

株式会社マクスエンジニアリング
岐阜大学 山田教授
株式会社天地人
ナカシャクリエイテブ株式会社

6/8

インフォマティクス

名古屋大学 小山教授
株式会社日立ハイテク
産業技術走行研究所
文科省マテリアルDXプラットフォーム

7/13

データ利活用

名古屋大学 中岩教授
株式会社Acompany
中部テレコミュニケーション株式会社
追手門学院大学 井佐原教授

8/10

モビリティ

中経連 (Map-NAGOYA)
名古屋大学 金森先生
Parking LIoT株式会社
中部大学 山下先生
BOLDLY株式会社
(公財)豊田都市交通研究所

4/27

医薬・創薬 (Tongali X)

Meet up Chubu with Tongali X

名古屋大学 秋山特任講師
名古屋大学 前田准教授
藤田医科大学 國澤講師
静岡大学 佐野准教授

5/25

SDGs (アグリテック)

株式会社デンソー
イノチオみらい株式会社
株式会社TOWING
豊橋市

6/22

レジリエンス

RainTech株式会社
株式会社スペース
株式会社ソマノベース
アンドレジリエンス株式会社

7/27

バイオメディカルDX

北陸先端大学 (Jイノプラ)
北陸先端大学 松村教授
北陸先端大学 都准教授

8/24

DX (デジタルツイン)

(株)中部電力
アルム(株)
(株)株式会社水谷精機工作所
名古屋大学 宇治原先生

9月

10月

11月

12月

1月

9/14

宇宙利用

ナゴヤイノベーションズガレッジ
名城大学 宮田先生
名古屋大学 森島先生
(株)archeda
(一社)SpaceTide、ANAHD
(株)

10/12

浜松地域スタートアップ

FUSE×HiCUBE

(株)ANSeeN
codeless technology 株式会社
(株)Relic
アンヴァール(株)

11/9

世界を変える(可能性のある)スタートアップ

ナゴヤイノベーションズガレッジ

(株)アダコテック
Scheme verge(株)
(株)Prototype City lab.

12/14

ディープテック

愛知県

株式会社FerroptoCure
株式会社Quastella
株式会社オンコイムセラテック
iBody株式会社
株式会社Helical Fusion
さかなドリーム
ABILITY株式会社

1/11

J-Startup

9/28

スタートアップwith中小機構

中小機構 (faster)

(株)フレンドマイクロブ
イクスアール(株)
(株)HACHIX
(株)トライエッティング

10/26

プロダクトデザイン

名古屋工業大学 北川教授
(株)AMN
(株)石川製作所
熱田起業(株)

11/22

光・電子技術・3D技術

浜松イノベーションズ推進機構

(株)カタナコーポレーション
シナジーオプトシステムズ(株)
(株)ゾディアック
パイフォトニクス(株)
パパラボ(株)
(株)モアソンジャパン

1/25

J-Startup

「Meet up Chubu」2022年度開催実績

58名 (14名 19名)
登壇者 (スタートアップ 大学)
※2022/9～2023/3登壇者数

2440名 (428名 2012名)
聴講者(のべ数) (現地参加 オンライン参加)
※2022/9～2023/3実績

103件

産学連携照会件数

※2022/9～2023/3登壇者

9件

NDA件締結数

※2022/9～2023/3

6件

Go-Tech事業提案件数

※2023年度公募実績

16大学

連携大学数

※2022年6月～2023年3月実績

115件

面談件数

32件

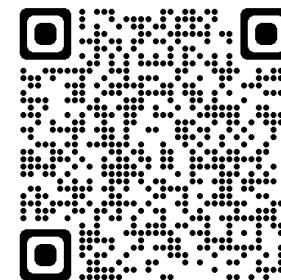
うち経産省施策
申請相談件数



■メールマガジン「いのべーる」

配信内容（月2回配信中）

- 創業・ベンチャー、スタートアップ、産学官連携関連の支援制度、イベント情報（補助金・助成金等の公募情報、セミナー情報等のご案内）



▶ <https://www.chubu.meti.go.jp/b35innovation/merumaga/index.html>



WEBサイト



Facebook

中部経済産業局 地域経済部 産業技術革新課 イノベーション推進室 担当：渡邊、伊藤
電話番号：052-951-2761
メールアドレス：bzl-chb-innovation@meti.go.jp